

活性化モデル商店街の概要

商店街名：足助中央商店街協同組合

●キャッチフレーズ
満足を生む商店街

◎商店街の将来ビジョン

【現状と課題】

- ・ 当地区は、「香嵐溪」という紅葉の名所に隣接していることから、観光客を誘客するためイベントを開催しているものの、毎年減少している。
- ・ また、人口減少や少子高齢化に伴い、顧客の減少、店主の高齢化、後継者や担い手の不足及び必要店舗の不足が進み、賑わい不足となっている。特に若い人にとって魅力的な店が不足しており、情報も不足している。

【対策】

- ・ 香嵐溪への誘客及び重要伝統的建造物群保存地区の商店街をPRした事業の推進、情報発信と体験型イベントを通じてレベルアップとリピーターを増やす事業の推進、地域コミュニティの場の提供（強化）に取り組んでいく。

◎具体的に取り組む事業内容

○スタンプラリー事業（29年度～32年度）

「中馬のおひなさん」で来街者が多いシーズンに合わせ、足助商店街地区の重要伝統的建造物群保存地区とお店を巡るスタンプラリーを開催。

○中馬塾（29年度～32年度）

「中馬のおひなさん」期間中の毎週土曜日または日曜日に、来街者に個店や商店街の魅力を知ってもらうための交流型イベントを開催。

○足助マルシェ（29年度～32年度）

中馬街道「塩の道」として古くから交流拠点として栄えたことを活かしてマルシェを開催。